

聴覚情報処理の仕組みと 応用に関する研究



知的インタフェース工学講座
講師 森川 大輔

研究分野

音響工学、聴覚心理物理学

研究内容

私たちの生活に欠かせない音とそれを処理する聴覚に係る研究を、音響工学と聴覚心理物理学の観点から進めています。わからないことが多く残る音を聴く仕組みを解明しながら、音を操る技術を創り出すのがねらいです。

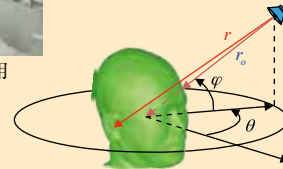
私の研究のポイント

音は物理的な現象ですが、聴覚という神経生理システムで処理され、心理的な表象を生み出すという多面性を持っています。音の物理的、神経生理的、心理的側面を総合的に把握して、それを応用することに取り組んでいます。例えば、頭部の動きが立体音の聴こえ方に深く関与することを明らかにし、ヘッドホンを通じて臨場感あふれる立体音場を再生する動的バイノーラルシステム^(*)などを開発しています。

REPORT レポート



音像定位実験用
スピーカアレイ



左右の耳に届く音のわずかな違いで
音の到来方向と距離がわかる



モバイル
テレヘッド



頭部伝達関数の
高速計測システム



3Dプリンタで「印刷」した
頭や耳介